

製品名: SCAND1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17635**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	SCAND1
別名	SCAND1; SDP1; SCAN domain-containing protein 1
遺伝子 ID	51282.0
SwissProt ID	P57086
免疫原	抗血清はヒト SCAND1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

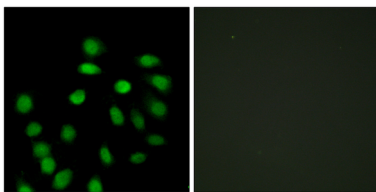
この遺伝子は、SCAN ボックスドメインを含むタンパク質をコードします。SCAN ドメインは、約 60 アミノ酸からなる高度に保存されたロイシンリッチモチーフで、元々はジンクフィンガータンパク質のサブファミリーに存在していました。この遺伝子は、単独の

SCAN ドメインをコードするものの、ジンクフィンガーモチーフを持たない遺伝子ファミリーに属します。このタンパク質は、転写因子ミエロイドジンクフィンガー 1B に結合し、その機能を制御する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011 年 1 月],機能: 転写活性を制御する可能性があります。類似性: 1つの SCAN ボックスドメインを含みます。サブユニット: ZNF202 と相互作用します。

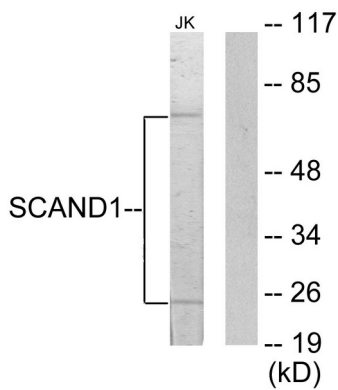
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; ジンクフィンガー

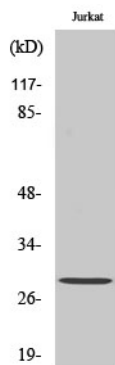
画像データ



SCAND1 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



SCAND1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



SCAND1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。